

科目区分	統合分野	科目名	災害看護	対象学生	第2学年
		単位数 (時間数)	1単位 (30H)	学 期	第2学期
担当講師	吉川 明美 (臨床経験11年、教育経験21年)、非常勤講師				
科目目標	1. 災害発生前後に人々や社会に生じる健康問題・課題及び看護の役割を理解する。 2. 災害時の看護活動に参加できる基礎的知識・技術を習得する。				
授業概要	<p>災害看護 : 15H 担当 吉川 明美</p> <p>第1回 災害看護の概要と本質 (講義) 災害看護の歴史、災害看護の定義と概要、災害の種類と種類別・対象者別被害の特徴 災害看護に関する理論、災害に関連する法律</p> <p>第2回 災害と国際協力 (講義) 国際社会が抱える問題 (健康問題を含む)、国際保健に関する機関とその役割 スフィアプロジェクト、持続可能な開発目標 (SDGs)、人道の原則と国際協力活動</p> <p>第3回 災害時における看護活動の実際① (講義) 災害サイクル、CSCATT、ピラミッドアプローチ、災害拠点病院と災害時に活動する医療チームとその役割 現場応急救護所設置とその目的、医療救護活動の流れ、救護所における看護の役割</p> <p>第4回 災害時における看護活動の実際② (講義・演習) トリアージの定義、START式トリアージについて、START式トリアージ (机上シミュレーション演習) 特徴的な傷病に対する応急処置の実際</p> <p>第5回 災害と情報伝達、被災病院・避難所における看護の役割と実際 (講義・演習) 災害と情報、METHANE、災害時の情報伝達 (演習) 被災病院における看護の役割、避難所とは、避難所における看護と保健衛生管理</p> <p>第6回 災害時の心理 (講義) 避難所における看護の実際 (事例演習)、被災者の心理とその変化、被災者のこころの 遺族へのグリーフケア、被災者・支援者のストレスとマネージメント</p> <p>第7回 復興に向けた被災者支援 (講義・演習) 仮設住宅における医療と看護の視点、地域支援活動のあり方、災害ボランティアの活動</p> <p>第8回 終了試験</p> <p>救急救命法の実際:15H 担当 非常勤講師</p> <p>第1回 救急法基礎講習① 赤十字救急法について、一次救命処置 (講義・演習)</p> <p>第2回 救急法救急員養成講習① 赤十字救急員について、急病・けが、傷の手当て (講義)</p> <p>第3回 救急法救急員養成講習② 傷の手当て (演習)</p> <p>第4回 救急法救急員養成講習③ 傷の手当て、骨折 (講義・演習)</p> <p>第5回 救急法救急員養成講習④ 搬送、救護 (講義・演習)</p> <p>第6回 救急法救急員養成講習⑤ 搬送、救護 (演習)</p> <p>第7回 検定</p>				
看護師国家試験出題基準	災害の特徴、災害と法制度、災害時の支援体制と医療体制、災害の種類と特徴、国際協力活動を必要とする人々 文化を考慮した看護、政府開発援助を通じた開発途上国援助、災害看護の特徴、災害各期の特徴 各期における保険医療の役割と看護、各期における要援護者への看護				
授業の進め方	視聴覚教材を用いて講義中心に展開する。 トリアージについては、シナリオトリアージ (机上シミュレーション) を実施し、体験学習する。				
履修のポイント・留意事項	今後の救援活動の実際への参加のために、日本赤十字社救急法救急員養成講習を受講し、 救急員の認定資格を取得する。				
テキスト	系統看護学講座 統合分野 災害看護学・国際看護学 医学書院 評価方法・配点 災害看護：終了試験 (100%) 日本赤十字社救急法救急員養成講習 学科検定 (100%)				